

私が部長であった 21 期は、21 期と 22 期の人数がともに 20 人程度と多く、かつ 5 学年で総勢 80 人近い部員数と大所帯の吹奏楽部だった。部員は個も強く、部長としてまとめることは苦労したが、にぎやかで楽しかった記憶がある。その中で一番記憶に残っているエピソードはやっぱりコンクールについてだ。

当時のコンクール出場者は 50 名以内というルールに対し、高校生 40 人以上でかつ全員男子という、他校垂涎（？）のパワー系の人数構成で挑むことができた。また、先輩たちのおかげで 3 年連続大阪府大会出場というタイミングでもあったため、出場者の多くはコンクールや府大会経験者であり、緊張でガチガチだった人は少なかったのではないだろうか。しかし、北摂大会での演奏は決して満足できるものではなかった。マーチのリズムがこけてどんどんテンポが早くなっていったこと、自由曲でトランペットの調子がとても悪かったことなど、反省点は 15 年以上たった今でもたくさん思い返すことができる。ちなみにだが、トランペットの件は「バヤリースを本番前に飲むとハイトーンが当たる」という代々伝わる言い伝えを守ったことによるミスだったらしい（口の中がべたついて音が鳴らなくとのこと。現役生はぜひ注意してほしい）。演奏後、武部先生と少し反省会のような会話をを行ったこともはっきりと覚えている。それくらい演奏直後は納得できない演奏をしてしまったという反省と後悔ばかりであった。

ただありがたくも、武部先生がつくる男子しかないとは思えないような音楽性の良さもあり（先生は本当にうまく私たちを飼いならしてくれていたと思う）、無事大阪府大会に進むことができた。北摂大会結果発表での会場内の低い大きな歓声（舞台上で聞くと本当に圧がすごい）や、結果発表後にメイシアターのロビーの階段を駆け上がり、部員みんなで抱き合って喜んだ景色はいまでも鮮明に覚えている。ちなみに府大会ではバヤリースを封印しトランペットが素晴らしい演奏をしてくれたこともあってか、4 年連続で銀賞を受賞した。銀賞ではあったものの、府大会での演奏は今聞いても（ひいき目ではあろうが）素晴らしくいい演奏であったと思う。

コンクールとは関係ないが、同窓会役員会の皆さまがまとめてくださったアーカイブを見返して、武部先生に関する小話を思い出した。21 期のカジュコンの 3 部では仮面舞踏会を演奏したのだが、なんとカジュコン直前に浅田真央が競技で使用するというとてもホットなタイミングでの演奏となった。私が中学 2 年生だった時は荒川静香がオリンピックで使用したトゥーランドットを演奏したこともあってか、選曲に関して武部先生がドヤ顔していたことは今思い返しても面白い記憶だ。

文化祭のゲリラライブで初めてジャズ風のルパンを取り入れたこと、カジュコンの劇で肉まんの餡に段ボールを詰めるという当時のニュースを取り入れたことや武部先生に自由の女神役で出演してもらったことなど、他にも思い出深い話はたくさんあるが、このあた

りで締めくくりたいと思う。後輩の皆さまも、大人になって「当時は充実していたなー。楽しかったなー。」と振り返ることができる部活動を送れることを願っています。